



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2026年06月08日 第1270「週刊五十嵐レポート」

## 近未来

6月2日～6日まで中国北京を訪問。目的は2つ。自動運転タクシーに乗ること、7年ぶりに中国語の先生に再会すること。今回の中国訪問は全く現金を使わなかった(両替をしなかった)。通常の支払いはWeiChatペイ。地下鉄はクレジットカード。

日本で「自動運転タクシーに乗る」と言ったら、知人は「怖くないの?」と訊かれた。行きと帰り(帰りは違う駅)の2回乗った。感想は、人間より安全運転をする。安心して乗ることができた。恐怖感や不安感は全くなかった。

Pony.ai(小馬智行)のタクシーは9個のレーザーセンサー、14台のカメラ、レーダーを搭載。これらから集めたデータをAIが統合して、仮想的な3D空間として描画している。前後左右360度監視、夜でも性能が落ちない、疲れしない、スマホを見ない。周辺認識は既に人間を超えている。人間の運転は、前方を見る、ミラーで後方を見る、断片的な認識。障害物があると見えない。

北京経済技術開発区(北京・亦庄)は自動運転専用インフラ、路側センサー、スマート信号、5G通信網が整備されている。車だけが賢いのではなく、街全体が賢い。故に人間以上に見えているように感じる。だから安全であり、安心して乗ることができた。現在の中国の自動運転技術がかなり成熟していると思われる。

なぜ中国の自動運転が進んでいるのか、日本が技術で遅れているわけではない。実際に車を走らせるのが圧倒的に早い。中国はまず走らせる。北京経済技術開発区では、自動運転専用区域、専用ルール、優先的な許認可を整備。実験車ではなく、お客を乗せるロボタクシー(自動運転タクシー)が走っている。自動運転AIは走れば走るほど賢くなる。中国では、北京、上海、広州、深圳などの都市でロボタクシーが営業している。車と街(スマートシティ)が一体化している。

2031年(今から5年後)頃はロボタクシーが普通になる。「地下鉄に乗るか、ロボタクシーを呼ぶか」という選択肢になる可能性がある。60年前は米国で近未来を見た。今は中国で近未来を見る。8月は上海に行く。

ちょっと  
気になる出来事

6月7日付朝日新聞「ヒーローの法則」という記事。

サッカーW杯の日本代表には、J1川崎のトップチームや下部組織でプレー経験のある選手が4人選ばれた。けがで選外となった三苫も川崎のアカデミー出身。彼らに共通する「考え方」とは。

多くのアカデミー出身者を検証し、確信が生まれた。「圧倒的な技術か、努力を続けられる性格か。プロで活躍するには、どちらかが必要だ」

言われたことだけをやっても限界がくる。自分は何をしたいのか。そのためには何が足りないのか。そう考える過程が成長につながる。伸びる選手に共通する主体性の芽を植え付ける。

三苫は、「トップでやれる自信がない。筑波大学に行って、しっかり成長して戻ってきます」「大学では、全員を抜くつもりでやっていました」

周囲に合わせるのではなく、基準を高く設定し、それを越えていく。そういう選手が、プロ入り後も成長が止まることがなかった。

「努力を続ける」「自主性」「高い基準」この3点ですね。



一口メモ  
知識

## 政治の根本 4

弟子の子夏(しか)が莒父(きよほ)の町の代官になった時に、「政治はどのように行えばよろしいのでしょうか」訊きに來たので、

「急いで成果を上げようとしないこと。それと小さな利益に目を奪われないことだ。焦れば手ばかりをするし、小さな利益に捉(と)られると大きな仕事ができなくなるからね」と教えてやったよ。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

